１．基本情報

| | |
|---|---|
| 体験談記入日（☆） | 2023 年　5 月　19 日 |
| 大阪大学での所属学部/研究科（☆） | 経済学部　経済・経営学科 |
| 留学時の学年（☆） | B3 |
| 派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆） | ☑交換留学　□　研究留学助成金<br>□　その他　（　） |
| 渡航先国名・地域名（☆） | カナダ |
| 滞在都市（☆） | バンク―バー |
| 留学先大学等名（☆） | University of British Columbia |
| 留学先での所属学部/研究科（☆） | Business |
| 留学先で主に使用した言語 | 英語 |
| 渡航先への入国日（☆） | 2022 年　9 月　3 日 |
| 渡航先からの出国日（☆） | 2023 年　4 月　29 日 |
| 渡航先国での滞在期間（☆） | 8 か月 |
| 同伴者の有無・続柄・年齢等 | 無 |
| その他 | |

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

| | |
|---|---|
| 履修科目名称 | Entrepreneurship |
| 履修期間 | Term 1 |
| 授業時間（〇分×△回） | 90 分×2 回 |
| 授業形態（講義・セミナー） | 講義・プレゼンテーション |
| 取得単位数 | 3 |
| 履修科目名称 | Business Communication |
| 履修期間 | Term 1 |
| 授業時間（〇分×△回） | 90 分×2 回 |
| 授業形態（講義・セミナー） | 講義・プレゼンテーション |
| 取得単位数 | 3 |
| 履修科目名称 | Introduction to finance |
| 履修期間 | Term 1 |
| 授業時間（〇分×△回） | 90 分×２回 |
| 授業形態（講義・セミナー） | 講義・プレゼンテーション |
| 取得単位数 | 3 |

| | |
|---|---|
| 履修科目名称<br>履修期間<br>授業時間（〇分×△回）<br>授業形態（講義・セミナー）<br>取得単位数 | Introduction to marketing<br>Term 1<br>90 分×２回<br>講義・グループワーク<br>3 |
| 履修科目名称<br>履修期間<br>授業時間（〇分×△回）<br>授業形態（講義・セミナー）<br>取得単位数 | Urban land Economics<br>Term 2<br>90 分×２回<br>講義<br>3 |
| 履修科目名称<br>履修期間<br>授業時間（〇分×△回）<br>授業形態（講義・セミナー）<br>取得単位数 | Consumer behavior<br>Term 2<br>90 分×２回<br>講義・グループワーク<br>3 |
| 履修科目名称<br>履修期間<br>授業時間（〇分×△回）<br>授業形態（講義・セミナー）<br>取得単位数 | Introduction to Finance<br>Term 2<br>90 分×２回<br>講義<br>3 |
| 履修科目名称<br>履修期間<br>授業時間（〇分×△回）<br>授業形態（講義・セミナー）<br>取得単位数 | |
| 履修科目名称<br>履修期間<br>授業時間（〇分×△回）<br>授業形態（講義・セミナー）<br>取得単位数 | |
| 履修科目名称<br>履修期間<br>授業時間（〇分×△回）<br>授業形態（講義・セミナー）<br>取得単位数 | |
| 留学生（日本人）の割合 | クラスに 0 人～2 人 |

| | |
|---|---|
| 成績評価の方法(試験・課題の数や分量等) | 中間試験・期末試験・プレゼン・課題・レポート |
| 履修科目の制限等（あれば） | 各ターム 15 単位以内 |
| （英語圏以外の場合）<br>英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について | |
| 語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等) | |
| 授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等 | |
| その他 | |

２．２福利厚生に関する情報

| | |
|---|---|
| 大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について | 学内のレストランやストアは高額<br>日本の生協のようなカフェテリアはなし |
| 図書館について | 綺麗で大きく、数も多い |
| 保健ｾﾝﾀｰ等の有無 | UBC hospital |
| ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について | 数多くある |
| 留学生へのｻﾎﾟｰﾄ | Go Global という組織がサポートしてくれる |
| オリエンテーション等学校主催の行事について | ９月の学期開始日にオリエンテーションがあり、各サークルがブースを並べている |
| 現地の学生との交流について | 自分から交流すればいくらでも機会がある |
| 他の留学生との交流について | 自然と留学生が集まるので、仲良くなる |
| 学外での活動について(地域コミュニティー活動等) | ボランティア活動 |
| 長期休暇中の過ごし方 | 旅行 |
| その他 | |

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

| | |
|---|---|
| ビザの種類（☆） | Study Permit |
| ビザの取得手続について(申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆） | 1ヶ月ほどで取得可能 |
| 利用航空会社 | ANA |
| 入国の際の現地空港名 | YVR |

| | |
|---|---|
| 空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間） | タクシー　３０分ほど |
| 入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等） | Study Permit, Passport |
| 渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等） | 在留届 |
| その他 | |

４．金銭に関する情報

| | |
|---|---|
| 奨学金の受給 | 有 |
| 奨学金名 | 大蔵共助会海外留学支援奨学金 |
| 奨学金月額受給額（円） | |
| 入国時に用意した金額 | 64 万円 |
| ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性） | 日本から 2 つほど持参<br>あまり使わない |
| 留学中に利用した銀行名 | CIBC |
| 現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等） | 対面ですぐに開設可能 |
| ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について | CIBC デビットカード 生活に必須<br>友達などに e-Transfer する機会が多い |
| 日本からの送金方法について | Wise account |
| 1ヶ月の生活費（目安） | 寮費なしで 500 ドルほど |
| その他 | |

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

| | |
|---|---|
| 住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等） | 寮　一人部屋 4 つで 1 ユニット |
| 家賃 | 10 万円 |
| 住居を探した方法・時期 | 春ごろに UBC に申請 |
| 荷物の運搬方法<br>（ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等 | スーツケース、国際宅急便 |
| その他 | |

５．２　食生活についての情報

| | |
|---|---|
| 普段の食事（自炊・食事つき学生寮等） | 自炊 |
| 1ヶ月の食費 | 200 ドルほど |

| | |
|---|---|
| その他 | |

５．３　その他日常生活に関する情報

| | |
|---|---|
| 電話について | カナダの SIM を購入 |
| ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等） | 寮になく、イーサネットケーブルを使用 |
| ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて | 持参 |
| 郵便について | 学内に郵便局 |
| 交通機関について | Bus, Skytrain |
| 治安について | 学内は非常に安全　ダウンタウンは一部以外安全 |
| 保険について | 海外旅行保険に加入 |
| 医療機関・薬について | 薬は持参 |
| 気候と服装について | 冬は雨が多く寒いため、レイヤーを重ねる |
| 普段の買い物について | スーパー、モール |
| 娯楽・行事について | クラブ・学校のイベント |
| 日本語の使用について | 日本人の友達や家族への連絡時に使用 |
| 日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの | 洗濯ひも・コンソメ・ハンガー・服・一眼レフカメラ |
| 留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと | 英語の勉強 |
| その他 | |

６．就職活動に関する情報

| | |
|---|---|
| 留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等） | セミナー参加・夏インターン参加 |
| 留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等） | 長期インターンシップへの応募・セミナーへの参加・ボストンキャリアフォーラムへの参加 |

７．語学の学習方法について

| | |
|---|---|
| 留学前に準備したこと、語学能力試験対策等 | TOEFL/IELTS/荷造り/保険/書類の準備 |
| 留学中の学習方法、工夫したこと等 | スケジュール管理のツールを充実させる |

| | |
|---|---|
| 留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等） | 英検１級レベルの単語の使用、ネイティブスピーカーとのニームレスな会話、ニュースやポッドキャストを聞き取れるようになった |

８．その他

| | |
|---|---|
| 留学して得られたこと | コミュニケーション能力、語学力、多文化理解 |
| 留学中に困ったこと | 寮生活が辛い |
| 留学前/留学中に参考になったウェブサイト等 | Facebook Reddit Twitter などを用いて学校や街の情報収集 |

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

**留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。**

私がバンクーバーへの留学を決めたのは、部局間留学の協定校の中でもトップ校のひとつである UBC Sauder Business School に行きたかったこと、そしてできるだけ多文化で多様性にあふれた環境に身を置きたいと思ったからです。私は 5 歳のころに 2 か月バンクーバーに滞在したことがあったので、大学生になった今もう一度訪れたいという思いもありました。今から考えれば、今回の留学を決意したのは私が人生の中で下してきた決断の中でも指折りの「最高の判断」だったと断言できると思います。そのくらい、私は UBC が、そして自然と都市が調和した美しい街バンクーバーのことが好きになり、今後の人生の糧となりうるかけがえのない経験を積むことができました。

私は大阪大学経済学部所属ですが、UBC ではビジネス学部に所属していたため、理論を主に学ぶことが多い日本での授業と比べ、よりコミュニケーションベースの、実用性に重きがおかれた授業が多い印象でした。特に term 1 で履修した Entrepreneurship のクラスは、各々が起業するという想定の下、財政面・雇用・マーケティングなど様々な面を含めたビジネスプランを組み立て、最後にプレゼンテーションを行うというもので、語学力と発想力、リサーチ力が問われる授業でした。毎度のグループディスカッションでは教授による講義に基づいて自分たちでアイデアを出していく必要があり、優秀かつ積極的な仲間に遅れないようついていくのが必死だった記憶があります。私はもともと英語が好きな方でしたが、実際にネイティブスピーカーやネイティブ並みに堪能な人たちしかいない環境に身を置いてみると、いかに自分の語学力が不足しているかを身に染みて感じ、アイデアや意見の内容以前にきちんとコミュニケーションを図るところからスタートしなければならないという現実に、悔しい気持ちを持ちながら受講していました。試行錯誤しながらもこの授業の最後には自分の納得のいくポートフォリオを仕上げることができ、(締め切りに追われ、バンフ旅行中に美しい山の中で泣きそうになりながら書いていたことも良い思い出です。) いろいろな力をつけることができた授業だった

と思います。他にも印象的な授業はたくさんあるのですが、内容が特に興味深かったのは Urban Land Economics です。私は都市経済学のゼミに所属しているので自分の関心のある分野でしたし、学んだ基礎知識を活かせる部分も多くありました。これは教授のレクチャーを聞くのが大半でしたが、毎度のクラスにつき１回は発言しようと心に決め、質問や意見を述べるようにしていました。最初のうちは挙手することに緊張していましたが、数を重ねるうちに慣れ、スムーズに自分の言いたいことを伝えられるようになったと思います。最も興味深かった点は、主にカナダやアメリカの都市や地域のデータを用いて学んでいたため、北米における様々な都市の構造・発展の仕方・地域による特徴の違いを知ることができた点でした。日本には都道府県がありますが、州と州における違いは都道府県よりもはるかに大きく、土地の価格や移住傾向の比較を行ったりするのが面白かったです。先生の話が聞き取れなかったり、単語が分からなかったりすることも日常茶飯事ですが、焦らずすぐに辞書やインターネットを使って調べ、必ずノートに記録を残していました。それを繰り返すうちに何度も出てくる単語は自然と頭に入り、実際に会話の中で用いることで習得していきました。

８か月間の留学生活を経て、自分自身を変えたと思う学びがあります。それは、人とのつながりを本当に大事にすること、そして自分自身と真面目に向き合うことの重要性です。ＵＢＣでは素晴らしい人との出会いがたくさんあり、彼らがいたからこそ充実した留学生活を送ることができたと思います。人とのつながりは目に見えない分脆く、人間関係に悩むこともありました。しかし、結局は自分から積極的につながりを持とうと動くことが大事で、自分が相手のことを大切に思い理解しようとするからこそ相手も自分のことを愛してくれるのだということを体感しました。これは日本でも同じことだと思いますが、様々な国籍や文化を持つ人々と常に関わるからこそ、フラットな状態でより相手を理解しようと自然に努力をすることができるようになったのだと思います。友人たちは真面目で優秀でありながら、生活を楽しむことや自分自身を大切にすることを忘れない人たちで、彼らから学んだことは計り知れずあります。彼らと交流するうちに、自分の欠けている部分や逆に自分の持っている良いところに気づかされ、より自分自身と向き合うことができるようになったと感じています。また、学部の枠を越えて様々な分野を学んでいる友達ができたので、自分がこれまであまり触れてこなかった領域にも興味を持ち、アンテナを張るようになった点において、自分の視野が広がったのではないかと感じています。

バンクーバーは雨が多いですが過ごしやすく、ハイキングやカヤッキングなどアウトドアを思い切り楽しむことができます。何といっても色々な国の食べ物がおいしく、ベトナム料理・中華料理・韓国料理・レバノン料理・マレーシア料理・インド料理など、なかなか日本では本格的なものを見つけるのが難しい料理も楽しめます。その点も含め、本当に多国籍・多文化なところがバンクーバーの大きな魅力だと思っているので、そのような環境を求めている方はぜひ留学されることをおすすめします。